

日付

取り組み (赤：国・県・近隣市町村 黒：町)

土屋町長の動き

- 6.5 【新富 16 例目発生】発生地区周辺消毒ポイント設置、交通規制
- 6.6 開始ワクチン接種共同埋却地協議。
- 6.7 口蹄疫対策関係市町長連絡会議。
第 1 回義援金配布。(畜産農家)
- 6.11 ワクチン接種家畜埋却地説明会。
【新富 17 例目発生】発生地区周辺消毒ポイント設置、交通規制開始。
- 6.13 西都市でも感染疑い確認。
- 6.17 ワクチン接種殺処分開始 埋却地 6 か所 ※6 月 30 日まで
処分頭数
牛 6,981 頭、豚 3,280 頭、ヤギ 21 頭、猪 4 頭
- 6.18 定例議会(口蹄疫対策補正予算)
代表区長会へ経過報告。
- 6.23 山田農林水産大臣(当時)が来県。
- 6.28 宮崎県が復興対策本部を設置。
県口蹄疫防疫対策会議。
定例議会追加議案(口蹄疫対策補正予算)



ワクチン接種家畜殺処分最終日



菅内閣総理大臣が来県 (宮崎県提供)

- 6.30 ワクチン接種家畜防疫終了。
- 7.3 猪殺処分 50 頭。町内の対象家畜すべて殺処分終了。
- 7.5 疑似患畜 21 万 1608 頭の処分すべて終了。
- 7.6 第 1 回口蹄疫に立ち向かうしんとみ元気再生のための意見を
聴く会。
- 7.8 清浄化対策。(畜舎清掃、堆肥処理) ※7 月 14 日まで
- 7.14 第 2 回義援金配布。(畜産農家)
- 7.18 児湯地域の制限区域を 90 日ぶりに解除。
- 7.20 第 2 回口蹄疫に立ち向かうしんとみ元気再生のための意見を
聴く会。
- 7.21 しんとみ元気再生会議。
- 7.27 「非常事態宣言」の全面解除。
- 8.2 臨時議会(口蹄疫対策補正予算)
- 8.5 口蹄疫の家畜糞尿処理、堆肥化処理開始。
- 8.11 畜産農家合同会議(堆肥処理と再開について)
- 8.12 合同慰霊祭(新富町営牧場)。
合同慰労会(新富町役場駐車場)。
第 3 回義援金配布。(獣医師・削蹄師)
- 8.13 堆肥発酵処理。 ※8 月 26 日まで
- 8.18 県口蹄疫対策会議。
- 8.21 灯籠流し(サマフェスティバル in 一ツ瀬 2010)
- 8.23 児湯地域の畜産産地再生に関する検討会。
臨時議会(口蹄疫対策補正予算)

- 6.12 菅内閣総理大臣が来県。
総理との意見交換で「農家を第一に考えていただきたい。」と要望。
- 6.14 農林水産副大臣へ獣医師の派遣と雇用対策を要望。
- 6.17 北澤防衛大臣来庁。基地周辺の土地をワクチン接種家畜の埋却地として使用することと自衛隊員の派遣増員について要望。
ワクチン接種家畜の防疫措置にあたり、家畜の車両積み込み、運搬、共同埋却地での作業など、作業員とともに奮闘する。(30 日まで)
- 6.18 副知事にワクチン接種家畜の殺処分のための獣医師派遣増を要望。
- 6.23 山田農林水産大臣へ農家の再開支援要望。
- 6.30 ワクチン接種家畜防疫終了。埋却地において家畜の冥福を祈る。
防災無線でワクチン接種家畜の殺処分・埋却終了を放送。
- 7.5 県選出民主党国会議員に補償と防疫対策予算確保及び補償金の非課税を要望。
- 7.29 口蹄疫作業従事者お祓い。
県選出民主党国会議員に復興に向けての予算確保を要望。
- 7.31 県物産館前での口蹄疫新富町フェアへ参加。
- 8.1 秋篠宮同妃両殿下から口蹄疫お見舞いのお言葉を賜る。
- 8.2 県町村会と東児湯 5 町で、補償金の非課税と防疫対策と復興に向けての予算確保を民主党・農林水産省に要望。
- 8.31